

新道路橋示方書適用に関する実務実践研修会プログラム

——実務実践研修で実務経験をプラスする——

講師：田淵 智秀

株式会社 片平新日本技研 執行役員 福岡支店長

資格：技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート）

道路橋点検士、一級土木施工管理技士、測量士

実績：国土交通省にて局長業務表彰

[1日目]

1. 道路橋示方書の変遷 10:30~12:00

技術基準の位置付け、昭和30年代後半から現在までの道路橋示方書の変遷、道示改定に大きく影響した近年の巨大地震、これらの地震によって改定された事項などを詳しく解説。また、H29道示改定前後に通知された事務連絡について解説するとともに、部分係数設計法の概念を説明。

(昼休憩 12:00~13:00)

2. 道路橋示方書の改定概要（共通編） 13:00~14:00

橋梁を計画するうえでの重要となる維持管理、新たに規定された3つの性能（耐荷性能、耐久性能、その他の性能）、橋の限界状態などについて解説。

3. 鋼橋・鋼部材編の改定ポイント 14:15~15:15

新たに規定された高降伏点鋼板、合成床版の適用支間や改定点などについて解説。また、「平成29年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例」の内容を紹介。

4. コンクリート橋・コンクリート部材編の改定ポイント・質疑応答 15:30~16:50

PC（ラーメン）箱桁の桁高や部材厚の変化及び曲線形状に伴うプレストレスの分力の影響（腹圧力）の影響など、改定点について解説。また、「平成29年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例」の内容を紹介。



[2日目]

5. 下部構造編の改定ポイント 9:50~10:50

改定された杭基礎の許容支持力の考え方、その他の改定内容について解説。

6. 耐震設計編の改定ポイント 11:05~12:20

熊本地震後に通知された事務連絡、落橋防止システムの考え方、その他の改定内容について解説。

(昼休憩 12:20~13:20)

7. 新道路橋示方書の適用事例紹介 13:20~14:20

これまでのQ&Aの内容、橋梁を計画するうえでの前提条件の整理、橋台位置を計画するうえでの留意点、鋼橋の設計に関する疑問点などについて解説。また、これまでの設計事例に基づき、「当初設計」と「照査計算」の差異について紹介。

8. 新道路橋示方書の適用事例紹介 14:35~15:35

9. 新道路橋示方書の適用事例紹介・質疑応答 15:50~16:50

※プログラムの内容・時間配分等に変更することがあります。

◆業務予定などの都合による参加者交代は可能です。

◆この研修会は全国測量設計業協会CPD認定講習会(10ポイント)です。建設系CPD連絡協議会に所属する(一社)建設コンサルタンツ協会、(公社)農業農村工学会等で研修会を受講した旨の申請ができます。